

# Think of Next

CSR報告書  
Vol.4




**トップインタビュー討論会**

トピックス

NEXT 15 Targets

CSR 7つの中核課題

 **中特グループ**

## ■ 表紙写真

スーパーなどで発生する野菜くずなどのリサイクル方法としてダチョウによる食品リサイクルに取り組んでいます。

ダチョウは寿命が50〜60年と長く、雑食性で1日に約10kgの野菜くずを食べます。これまで市の焼却場で焼却していた野菜くずをそのまま食べ、処理施設や燃料を全く必要としません。さらに鶏の25倍もある大きな卵を産みます。

この卵に注目し、京都府立大学の動物衛生学研究室と共同でハウスダストに対する抗体を大量に作製することに成功しました。メスのダチョウにハウスダストアレルゲンを接種すると体内で抗体がつくられ、血液を通じ卵の黄身に濃縮移行したものを大量に回収。現在、スプレー剤「アレプロテクト」として発売されています。ハウスダストを無害化し、アレルギー症状を持つ人に対する高い抑制効果が確認できました。スプレー剤以外にも化粧品やマスクや空気清浄機などにも開発適用中です。また、ジカ熱やインフルエンザ等への適用も可能性があります。

『ごみ』から『新規有用素材』を創出する新たな事業によって食品リサイクル並びにダチョウ研究にも興味を持っていただければ幸いです。



## 企業理念

### 使命

「私たちは生活環境革命で人々を幸せにします」

### 基本姿勢

1. 私たちは、私たちを取り巻く全ての人々に誠実に接します
2. 私たちは、時代の風向きに敏感に反応し、いかなる時代が来ようとも存続します
3. 私たちは、共に地球に暮らす一員として、社会のために役立つ存在となります

### 行動指針

1. 明るく元気に
2. 迅速丁寧
3. 目配り気配り思いやり
4. ピンチはチャンスプラス思考

### 目指すポジションNo.1

- 社員の幸せNo.1
- お客様の満足No.1
- 社会に貢献No.1
- 未来の創造No.1

## ISO26000 7つの中核課題



## 目次

トピックインタビュー討論会	3	
トピックス	7	
NEXT 15 Targets	9	
地域社会とともに	13	
お客様とともに	17	
環境のために	19	
社員とともに	21	
安全衛生防災活動	25	
労働慣行・人権	26	
第3者意見	27	
経営執行組織図	28	
編集方針	29	
組織統治	29	
CSR活動	30	
コミュニティへの参画および コミュニティの発展	12	
消費者課題	16	
公正な事業慣行	18	
環境	20	
労働慣行・人権	24	

# トップインタビュー討論会

どういいう人、どういいう会社になるべきか、  
如何にあるべきか、と考えました。

（司会 久保部長）

50周年を経過して「これからの50年」ということで、この度改めて基本方針を策定されましたが、この基本方針への思いを語っていただけますか？

（橋本CEO）

50周年を機に「基本方針」を作り始め、51年目の今年出来上がりました。



以前から企業理念ひとつとっても私の考えるレベルと社員の皆さんが考えるレベルに差があることを感じていました。例えば明るく元気良くといっても、皆さん自分に明るく思っていると思つて。また会社によつても若干雰囲気や風土によつても異なつていくことに気づきました。

みんな頑張つているのだけれど何か少しずれがあるな、中特グループの一員として、中特ブランドを確立するにはもつとみんなが足並みを揃え同じ価値観を持たなくてはいけないなという思いがありました。

私の知つているある会社は、社員の平均年齢30才の若い会社ですが、そこでは、女性のネイルは透明または薄いピンク、ベージュとし、爪に凸凹の出来るものは禁止、挨拶は相手の目を見て名前を呼んで、相手より先に大きな声でするといった具合に、こと細かく記してありました。方針を明確にすることは、常識さえ異なるジェネレーションギャップを埋めることも出来ると思ひました。

中特グループのあるべき姿をどのように実現して行くか、「生活環境革命で人々を幸せにします！」という使命を実行するためには、一人ひとりが如何にあるべきかと考えたのです。

以前から頭にあるものを一旦文字にしたものですが、これで完全に良いもの、最終で完璧なものではもちろんありません。

今後毎年改訂して充実を図る必要があると思つていますので、皆さんもどしどし追加修正のご意見を出してください。

——中特グループの今後の進むべき方向、或いは未来の姿について、どのような考えをお持ちでしょうか？

（橋本CEO）

私は自分の年齢が50才になった時、いよいよ人生の折り返し地点が来たと思ひました（笑）。そして、もうひと人生をどう生きようかと考えました。同じように会社においても考えるのは自然なことでした。これからの50年は第2創生期と思つています。私たちを取り巻く環境はめまぐるしく変わつていきます。

昔は、ごみ等の要らないものは、いかに早く回収に行くか、いかに安くできるかが求められましたが今はそうとは言えません。世界人口がどんどん増え、天然資源が枯渇しようとしている現代では、私にとつては不用品であっても誰かにとつては必要かもしれない、一見無価値と思われる物に価値を見出すことが求められています。

いわゆる3Kと呼ばれる仕事から高度な技術・化学的知識を要する仕事に進化してきているのです。

従つて、私たち一人ひとりが知識を高める

## 【出席者】

- 中特グループCEO 橋本ふくみ
- エコ事業部長 川本文吾
- 総務管理部長 久保智
- リサイクル事業部長 江村 範久
- ポータルハートサービス事業部長 山根 淳司
- CS営業部長代理 内山 浩



ことが必要であり、また今後の50年を生き残る道は、人間性を高めて、まず世間から要求される要件を備えて、こちらが導いていくつもりで取り組んで行くことです。

——中国特殊工事業部の今後進むべき方向、未来の姿について

(川本部長)

中国特殊は創業当時、先代の時代から現在まで、今後もかなめの事業、という意識を持っています。



川本部長

これからも地域から必要とされる会社でない生き残っていかない。地域の方々から「中国特殊がないと生活できない！」といわれるようにしていかなくてはならないとメンバー全員に言っています。

このために基本方針を習慣つけて会社一丸となつて対応しています。

今後大きな夢を持つ、それを実現させる「礎」となるようにして行きたいと思えます。

人間性を高めて、まず世間から要求される要件を備えて、こちらが導いていくつもりで取り組んで行くことです。

(橋本CEO)

「礎ですよ！」(笑)、「礎」となるように！50年後に今この出席メンバーは誰も残っていませんが、会社は継続しています。今年ここで討論した議事が歴史に残るように、本日車座で討論したメンバーが「中特グループに革命を起こした。」と後世に名を遺して欲しいですね。

社史に残る、中特グループが世界に進出し、宇宙に進出するように(笑)なつたきっかけは、2016年のこの事だとCSR報告書に残るように、みんなで目指し取り組んで行きたいと思えます。

(川本部長)

吉本興業ポータルハートサービス事業部の今後進むべき方向、未来の姿について

(山根部長)

ポータルハートサービス事業部はまずは、近隣の方から知っていたとき、地域の方から必要とされるようになるのが前提、ま



山根部長

だ一部しか出来ていないと思えます。今後若手が中心となつて築き上げていかななくてはならない、40代以上があれこれ言うのではなく、若手主体で出来るように引き継いで行かなくてはならないと思つています。

若い人との考え方とギャップがあるので、どちらの考えが正しいか、悩むこともありませんが基礎的なことは、自分の信じることで間違いないと思つて指導しています。今後30代が主力となつた時にどのように対応していくのか？気になっていきます。時代に合わせて変えて行つてくれればよいが…

指導に悩まないためにも「基本方針」を活用してください。

(橋本CEO)

基本方針は若手から中高年まですべての人、中特の社員全員を対象にしています。管理者は基本方針を参考にしながら対応していくこと、理由は不要です。吉本興業で特にここが必要だと気づいた点があれば提言してください。更にポータルハートカラーを出して欲しいと思えます。

——リライフサイクル事業部の進むべき方向、未来の姿について

リライフは基本方針にも示されているように新規事業を立ち上げ、リライフが大きな柱となるように、今まさに進めているところです。基本方針及び未来地図が出来て、課題等もみんなにわかり易く徹底しやすくなりました。

(江村部長)

CS営業部は、お客様の生活環境に関する多種多様なお困りごとを解決するよう日々活動しています。様々な難題にあたる個々の考え方により結果が違ったものになっていましたが、基本方針が出来たおかげで進むべき方向を共有できるので、一体感が確立されると信じています。中期ビジョンでは、今はまだお取引をし

——CS営業部の進むべき方向、未来の姿について

(内山部長代理)

CS営業部は、お客様の生活環境に関する多種多様なお困りごとを解決するよう日々活動しています。様々な難題にあたる個々の考え方により結果が違ったものになっていましたが、基本方針が出来たおかげで進むべき方向を共有できるので、一体感が確立されると信じています。中期ビジョンでは、今はまだお取引をし



江村部長

会社を大きくすること、新しいことを推進するとリスクも大きくなるので注意が必要ですが、地域貢献活動もいろいろやっていますが、地域になくはない、社会になくはない、まわりから必要と思つてもらえる企業を目指して、さらにレベルアップするように頑張つて行きます。

(橋本CEO)

新規ビジネスを模索し始めるのに重要なことは、今まさに困つていることを解決すること、これに尽きます。誰かが何に困つているかを調査追及することからビジネスチャンスにつながります。

——CS営業部の進むべき方向、未来の姿について

CS営業部は、お客様の生活環境に関する多種多様なお困りごとを解決するよう日々活動しています。様々な難題にあたる個々の考え方により結果が違ったものになっていましたが、基本方針が出来たおかげで進むべき方向を共有できるので、一体感が確立されると信じています。中期ビジョンでは、今はまだお取引をし

CS営業部は、お客様の生活環境に関する多種多様なお困りごとを解決するよう日々活動しています。様々な難題にあたる個々の考え方により結果が違ったものになっていましたが、基本方針が出来たおかげで進むべき方向を共有できるので、一体感が確立されると信じています。中期ビジョンでは、今はまだお取引をし

CS営業部は、お客様の生活環境に関する多種多様なお困りごとを解決するよう日々活動しています。様々な難題にあたる個々の考え方により結果が違ったものになっていましたが、基本方針が出来たおかげで進むべき方向を共有できるので、一体感が確立されると信じています。中期ビジョンでは、今はまだお取引をし

CS営業部は、お客様の生活環境に関する多種多様なお困りごとを解決するよう日々活動しています。様々な難題にあたる個々の考え方により結果が違ったものになっていましたが、基本方針が出来たおかげで進むべき方向を共有できるので、一体感が確立されると信じています。中期ビジョンでは、今はまだお取引をし

CS営業部は、お客様の生活環境に関する多種多様なお困りごとを解決するよう日々活動しています。様々な難題にあたる個々の考え方により結果が違ったものになっていましたが、基本方針が出来たおかげで進むべき方向を共有できるので、一体感が確立されると信じています。中期ビジョンでは、今はまだお取引をし

CS営業部は、お客様の生活環境に関する多種多様なお困りごとを解決するよう日々活動しています。様々な難題にあたる個々の考え方により結果が違ったものになっていましたが、基本方針が出来たおかげで進むべき方向を共有できるので、一体感が確立されると信じています。中期ビジョンでは、今はまだお取引をし



内山部長代理

ていないお客様や企業の方と新たな出会いがあると思うとワクワクします。今現在、販売、提供できるサービスが沢山ありますが、今後は何倍もの商品や品目や業種を扱える事で益々中特ファンを増やせると思います。将来的にはリライフにエコのテーマパークやメモリアルパークができて一般の方が沢山来場され地域密着型企業となり周南発で全世界に飛躍し、結果的に売上目標を達成できると信じています。

## 将来は地域密着型企業となり周南発で全世界に飛躍します。

(橋本CEO)

営業だけに50億(10年後)の売上目標を押し付けるわけではありません。新しいものを立ち上げないと売上目標は達成できませんが、中特グループには山ほどネタがあります。

昨年、7社業務提携(注1)を行いました。取り扱っているものが異なっていますが結果として、リサイクルメジャーを目指すためです。7社が現在やっていることに捉われず資源リサイクルと廃棄物処理分野が同じ静脈産業として新たなものを生み出していきます。

現在各分科会で協議検討しているのもその前段階です。

### ——総務管理部の進むべき方向、未来の姿について

(久保部長)

総務管理部の業務範囲は幅広いが、大まかにいうと、会社の中心・会社自体を強くすることです。



久保部長

目立たないが緑の下の力持ちにならないといけないと思います。

総務部が総務管理部に変わり、経理・財務と数字にも強くなるように求められました。財務面を強化するのが目指す方向であります。

強い会社にするためには良い人材の確保が必要。年々求人状況の厳しさを感じています。仕事のやり方では、現状は仕組みがアナログだったり、人に頼ることも多いのでシステム化・効率化も進めていかななくてはなりません。

遅くまで必死にパソコンに向かっている姿より、さっさと効率良く仕事を終わって笑顔で帰る状態、活き活きと働いていける職場を作らなくては、と思っています。

(橋本CEO)

総務は会社の肝とも言えますが、事業部と違って、終日パソコンの前に座っていると一見仕事をしているように見えます。傍からは生産性が見えない。だからこそ生産性を上げる努力をしてください。

ライフワークバランスからも早く仕事を終わらせること、早く退社して人生を謳歌して欲しいと思います。

夜遅くまで仕事しているのがかっこいいのは過去のこと、時代は変わっており、がむしゃらでなくきつちりと論理的に、生産性を上げて余裕を持って仕事ができるように工夫し

※注1) 7社間包括業務提携……中特ホールディングスは、スズクホールディングス株式会社と株式会社エンビロ・ホールディングスとの包括業務提携に株式会社イボン、株式会社やまたけ、株式会社マテック、株式会社青南商事とともに加わり、7社間包括業務提携契約を締結しました。7社の保有する経営資源を最大限に活用し、事業を通じて持続可能な社会を実現し、かつ事業に関わる関係当事者の幸福に貢献することを目的とします。



て、仕事ばかりでなく、社員がリフレッシュできるように意識改革してください。

今後は新本ビルも検討したいと思います。5年以内をメドに建て替えたい、食堂も作りたい、タニタに見習って、近隣の主婦の方に手伝っていただき食事を作ってもらっても良いですね。

皆さんにおかずをお持ち帰りしてもらおうのもいいですね。

リライフは離れていますが、弁当を作って配達するなど工夫はできます。

また、体力作りマシーンを置いて昼休みや退社後運動も出来るようにし、会議室やセミナールームも近隣の方も使えるように貸出したりするのも良いかもしれません。

# 社会の役に立てば立つほど会社は発展する、会社が発展すればするほど社会の役に立つのです。

—今後のCSR活動のあり方、CSR報告書のあり方についてみなさんどのように考えておられますか？

(川本部長)

CSR報告書というと、大企業さんが主体で、格式張った文字の多い一見難しいものが多かった印象です。

弊社のCSR報告書は、一般の方にもわ



かり易く、写真も多く理解されやすい、親近感を生むというご意見をいただきました。

中特グループの味のある社内報コミュニケーションと併せ、読むのを楽しみにしているという声も聞きます。営業ツールにもなっています。

それを踏まえ、もつともつと関係者から「いつ届くの？」とせかされるような内容を続けて行つたらよいのではと思います。

(江村部長)

社会貢献、やってきたことが記憶・記録に残ることが非常に良いことと思う。

(久保部長)

CSR活動についてはぜひぶん前から実施しており、それを知ってもらえるようになったのが良いことです。

せっかく活動している、いろいろやっているにも拘らず、地域の方やお客様に知られないのは残念なので、世の中の皆さんに広く知られるきっかけになったことがよかったですと思います。

(橋本CEO)

CSR活動は、目先のお金を稼いでくれるものではありませんが、今後会社が存続するために必ず必要なことです。100年続

いている会社は大抵、世のため人のためになることを追求されています。

いつも言っておりますが、社会の役に立てば立つほど会社は発展する、会社が発展すればするほど社会の役に立つのです。

また、ISOは事業の役にたっていないと一時認証を止める企業も多かったのですが、中特グループは流行で続けているのではなく、環境関連事業を行う者として必要と考えています。

(江村部長)

今のボランティア活動、社会貢献活動は、まだまだ目標に設定しているから(仕方ない)ということもあります。究極の社会貢献は自分の意志で取り組むこと、その意味ではその基盤・習慣づくりが肝要だと思います。

(橋本CEO)

CSR報告書を発行しているのは県内の中小企業ではまだわずかです。事業計画発表会などを実施している会社も少ないと聞



いています。

うちもやりたいと言われる社長もいらっしやいますが、日常業務もあり社員を説得できないとのことです。中特グループも最初はそうでした。

最初の社会貢献のきっかけはISO(平成14年)取得の時でした。ISO14001を認証取得しようとなったきっかけは中間処理場でのトラブルで1カ月の全事業操業停止をされたことです。いい加減な仕事をしていたら、会社はつぶれるという危機意識が発端でした。

但し、最初は社内の大抵抗、苦勞の連続でありました。

字を書くことが嫌い社員に記録させる。「地域清掃・勉強会?なんじゃそりや!」そんな世界です。

勉強とは無縁の人に研修を受講してもらいました。最初は机の上に足を上げていたメンバーなど、挨拶しても無視する状態でしたが、今は当たり前になってきました。今では勉強することも地域清掃することも当然のことになつてきています。これこそ風土改革です。

今後はCSR活動と事業活動の相乗効果を求めていくのが、CSR活動の進むべき道と思っております。

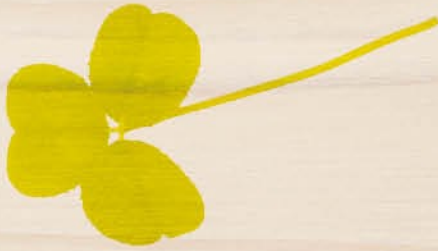
—本日はどうもありがとうございました。

平成28年9月28日(水)

本社2階セミナールームにて



## 「環境 人づくり企業大賞2015」受賞



環境省・環境人材育成コンソーシアム主催の「環境人づくり企業大賞2015」の環境大臣賞を受賞しました。

この賞は、「地球環境と調和した企業経営を実現し、環境保全や社会経済のグリーン化を牽引する人材すなわち環境人材の育成を推進」を目的に、自社社員を対象とした優良な取組を行う企業を表彰する」というもので、昨年度の奨励賞に続き、今年度「大賞」を受賞しました。

- グループ全社員を対象とする独自の「中特アカデミー」講座を開講し、環境関連企業の社員としての人間性向上にまで踏み込んだ教育を行っている。
- 社員が企画と講師を担当しており、受講者側、講師側の双方の立場から学びを深められる取組みとなっている。
- 地域に密着したさまざまな環境・社会活動を実施する中で、社員の研さんを図っている。

との評価をいただきました。日々の社員達の取組みを評価していただけたこと、大変嬉しく思います。これからも、日々精進してまいります。

## 業務提携活動中

昨年、スズトクホールディングス株式会社、株式会社エンビプロ・ホールディングス、株式会社イボキン、株式会社やまたけ、株式会社マテック、株式会社青南商事との間で7社間包括業務提携を締結し活動しております。

成長戦略、営業、生産技術、環境監査、情報システム、管理、その他の分科会に分かれ、定期的な会合を行い、情報交換・討議・懇親を重ねています。

3月25日(金)に、中特ホールディングスで、営業・環境監査・情報システムの3分科会合同部会が行われました。最初に下松リサイクル工場の見学を実施し、本社へ移動、会社の概要説明を行い、その後各分科会へ分れて意見交換討議を行い、最後に懇親会で親睦を深めました。







# 「第1回山口県女性活躍推進知事表彰」の「女性チャレンジ賞」受賞



中特ホールディングス社長・橋本ふくみが、このたび創設された「第1回山口県女性活躍推進知事表彰」の「女性のチャレンジ賞」を受賞し、10月29日（土）に開催された「平成28年度男女共同参画フォーラム」にて表彰されました。

総務管理部リーダーの鶴本昌子が橋本に代わって出席し、村岡知事より表彰状をいただきました。

これを励みに社員一同益々精進して参ります。



4月に発生した熊本地震に対し、NPO法人日本商店会様と合同で、社員全員で飲料水、栄養ドリンク、毛布、お菓子などの支援物資を集め、4月22日（金）被災地へ運びました。

飲料水などを購入するため周南地域のスーパーなどをまわりましたが、その際、個人の方或いはお店の方が支援物資を集めていると知って、これも持つて行って下さい、とか、これは差し入れですなど、あたたかい言葉をかけられ、人々のやさ



しさに触れ俄然気合いが入りました。

eクリーニンググループは、地震で損傷した下水道管路の調査応援のため上益城郡益城町へ2週間の災害支援活動に行きました。CS営業部は後方支援ですがデータ調査整理業務へ馳せ参りました。

支援物資運搬及び支援に行かれた相吉社員・安光社員・武居社員、どうもご苦労様でした。

被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに1日も早い復興を願っています。

## 熊本地震支援



# NEXT 15 Targets

## 次世代のために果たすべき、中特グループの15の課題 【経営目標&環境目標】

中特グループは、地域社会に強く必要とされる企業を目指し、次世代のために、環境のこと、社会のこと、子供たちのこと、……を考え、全社一丸となって取り組んでいます。

利害関係者のニーズ及び期待、中特グループを取り巻く状況及びリスクと機会を検討し、2015年度から2017年度までの3か年に実行すべき経営目標並びに環境目標を次の通り15の課題として掲げ、全社一丸となって取り組んでいます。

### No.1 中特アカデミーによる自己成長

社員の自己成長を図り、中特グループ目標を達成実現して行く能力をつけることを主眼に置き、2015年度より「中特アカデミー」を開始しました。初年度は全員7単位以上の取得を目指して取組み、平均7.3単位の実績でした。

2016年度はさらに充実を図り、一般社員13単位、リーダー以上25単位を取得する目標で取り組んでいます。

必須科目として、未来地図・マナー研修・習慣形成など、選択科目として、各部門のリーダーが講師を務める各部門の業務内容などを計画しています。



### No.2 チームパワーによる改善提案

社員の問題意識を高め業務の効率化のため、改善提案提出を奨励しています。

2014年度までは、提出することに重点を置き活動していました。

2015年度から、改善の実施及び内容に重点を移し約10%の採用実施率を→20%(2015年)→30%(2017年)と引き上げる目標に変更すると共に、評価・表彰の仕組みを作りました。

2015年度は採用実施率目標20% グループ全実施件数200件/年に対し、実績は255件目標達成率127%となりました。2016年度はグループ全実施目標件数300件/年で取組中です。



(件/年・人)

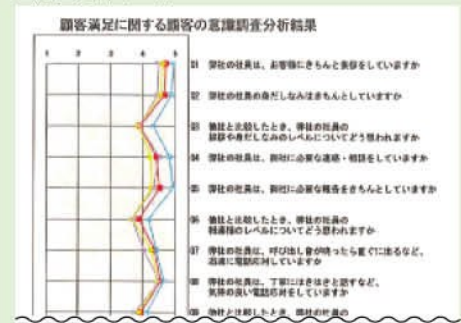
年	2011	2012	2013	2014
提出件数	7.8	6.9	10.1	12

### No.3 お客様満足度向上、5段階評価で4 → 4.2 (2017年度)

お客様満足度の前回アンケート評価は2013年5～6月に実施しており(CSR報告書Vol. 1記載)、5段階評価で4.0でした。

次回アンケートは2018年度に予定、評価点4.2を目標として取り組んでいます。

■調査資料の一部





すべては 次世代 のために・・・“Think of Next”  
いつも、環境のこと、社会のこと、子どもたちのこと・・・を考えています。



“Think of Next”  
CHUTOKU GROUP

## No.4 苦情件数削減、目標0件

苦情ゼロ目標で取り組んでいますが2015年度3件の苦情が発生しました。

■ 苦情件数推移



■ 2015年度苦情内容

	苦情内容	対応
①	運転マナー苦情 無理な割り込み	内部通達発行、運転マナーアップ 並びに安全運転指導呼びかけ
②	客先で吸引車の運転操作ミス ハッチ開放操作間違い	手順書作成、指差呼称の徹底、 レバーへ表示
③	客先でダンプの油圧油漏れ	車両(ダンプ)修理 点検チェック体制見直し

## No.5 お客様の声収集

私たちの収益の源は「お客様」です。

そのお客様の声にしっかりと耳を傾け、漏らさず拾い上げ、お客様のニーズをとらえ、それを活かすことで顧客満足度を上げ、さらなる顧客サービス向上につなげます。2015年度のお客様の声収集は、目標1,000件/年に対し、1,010件/年と目標達成率100%、2016年度は、1,300件/年の目標で取り組んでいます。



## No.6 業務の生産性向上・時間外削減

ワークライフバランスの観点からも、業務の生産性を向上し、時間外の削減に取り組んでいます。

2017年度時間外目標を50H/年としています



## No.7 事故・災害の撲滅

災害事故は常に“ゼロ”を目標に取り組んでいます。

業務の内容に関連して車両による小規模な物損事故が散発します。

JBK(事故撲滅研修)その他諸々の活動により年間10件まで削減しましたが、さらに安全運転・KY運転・かもしれない運転を徹底して事故ゼロを目指し活動します。



## No.8 年間売上高

売上高は、現状(2014年度)12億円ですが

目標 2016年度 16億円

2017年度 18億円

としています。

少子高齢化、人口減、周南コンビナートの操業減少・産廃減少など、厳しい状況ではありますが、リサイクル事業拡大・新規事業の展開・異業種との連携など売上増に取り組んでいきます。

年間売上高の推移(単位百万円/年)



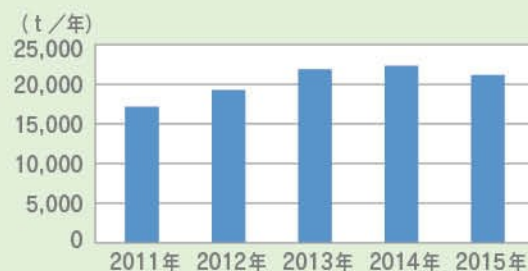
## No.9 営業利益率

売上利益率を現状の約6%から9.5~10%とすべく、受注からの各プロセスについて収益を見直し、改善を進めてまいります。



## No.10 汚泥等被処理物受入量の拡大

汚泥等被処理物受入量は、地域環境のため、また、お客様のニーズに応えるため、売上増のため、15%/年ずつ拡大すべく目標を立てています。2015年度は取引先の事情により受入が滞り、減少しました。



## No.11 再資源化量の拡大

再資源化量についても受入量と連動し、15%/年の拡大を目標として取り組んでいます。

2015年度は、目標には若干届きませんでしたが、前年比約11%の増加となりました。

引き続き再資源化量拡大に取り組んでまいります



# NEXT 15 Targets

## No.12 再資源化率アップ

再資源化、再利用、再循環の重要性は、ご説明不要と思います。中特グループは、産業廃棄物の再資源化率、現状92%を95%とすべく取り組んでいます。



## No.13 ボランティア活動への参加

環境保全ボランティア活動への参加は2015年度より1人当たりの年間回数へ変更し、現状1人当たり年3回の参加を5回に増やすよう、社員全員で取り組んでいます。

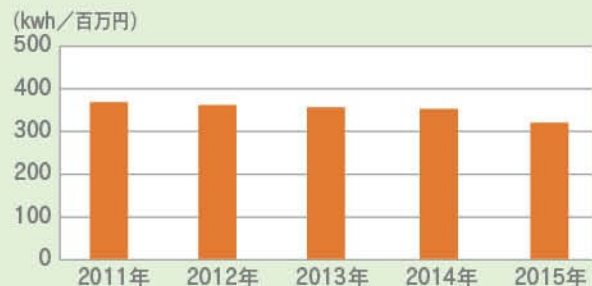


## No.14 電気量原単位の削減

省エネ法では一定以上のエネルギーを使う事業所はエネルギー使用効率を毎年1%向上させることを義務づけています。

中特グループは合計で原油換算量1,000KL未満なので該当しませんが、電気量原単位を法の2倍の2%削減において取り組んでいます。

2015年度はリラيفの電気量削減努力により約9%削減できました。



## No.15 燃料使用量原単位の削減

燃料原単位についても、電気量原単位と同様に年2%削減目標で取り組んでいます。

2014年度は2012年度に対し約17%削減しておりましたが、2015年度は燃料消費に対し売上げが増加せず燃料原単位は2012年度に対し約8%削減まで悪化してしまいました。



# 地域社会とともに

中特グループは、地域社会の一員として、地域社会とのかかわりを大切に、グループ全社をあげて様々な企業活動を行っています。

## ■ 第3回エコフェスを開催



- 1 リサイクル工作はペットボトルを利用した風車・けん玉の製作体験をしました。
- 2 パッカー車への積み込み体験 3 ジャグリングショー・じゃんけん大会・ミニ緑日なども行い大変好評でした!

6月が環境月間ということもあり、地域の皆様にごイベントで楽しみながら環境について考えていただくきっかけになればという思いで開催しております。缶・ペットボトル持参者には粗品と交換し、資源リサイクルの啓蒙実践を行いました。当日はすっきりしない天候にも拘らず、近隣の子ども達などたくさんの方にご来場いただきました。

## ■ 第1回お片付け川柳コンテストを実施

5月にお片付け・整理整頓・整理収納に関する川柳を募集し、エコフェス会場にて展示、ご来場いただいた皆様に審査投票をお願いし、大賞を決定しました。

大賞の座に輝いたのが…!

『とりあえず 旦那のものを 捨ててみる』



(石村孝敏さん作)でした! 大賞川柳を応募くださった石村さんには、表彰状とQUOカードを贈呈しました。

## ■ ポータルハートサービスによるフリーマーケット

エコフェスと同時にポータルハートサービス主催の第1回フリーマーケットを開催し、リーズナブルな価格で日用品・生活雑貨などを提供しました。



◀中には超目玉商品もあり、開始早々から多くの方が詰めかけ盛況でした。

## Information

ポータルハートサービスとは、暮らしの中の

『お困りごとの入り口』として、

不要品の処理などの

家の中の片付けから水まわりのトラブルなどご家庭のお困りごとの解決をお手伝いします。

幅広いネットワークで家屋の解体から

遺産相続などのご相談も受け付け、

専門家に繋げる

サポートをおこないます。



## 「ポータルハートラジオ」スタート

しゅうなん FM (78.4MHz)

中特グループ (株)吉本興業ポータルハートサービスの仕事や、会社で取り組んでいる環境・社会貢献について紹介する『ポータルハートラジオ』コーナーが9月5日より始まりました!(毎週月曜日の12:45から放送)

お得な情報もいろいろ発信していきますので、是非聴いていただければと思います!



※可聴エリア以外の方には、インターネットでもお聴きいただけます。

<http://www.jcbasimul.com>

## 環境出前授業

周南市内の各小学校で今年度8校の環境出前授業を実施中です。

9月23日(金)、周南市富田西小学校にて実施しました。元気よい挨拶で始まり、みんな真剣に聞いてくれました。分別ゲームで使用した物に興味を持ったり、積極的に質問をしてくれました。

積み込み体験では、袋一杯のペットボトルを持ってきてくれた子もいれば、スタッフの横でずっと回転板と積込板の動作を眺めている子もいました。



◀みんな笑顔で積み込み体験をしていました。

## いきいきサロン・終活セミナー

周南市内のいきいきサロンに訪問し、分別クイズ・パフォーマンスなどを継続して実施しています。

終活セミナーも色々な形で継続して実施しています。



◀周南市岐山公民館で開催された大人の寺子屋にも参加しました。



## ■ 周南冬のツリーまつり 清掃ボランティア参加

12月23日(水・祝)に開催された「周南冬のツリーまつり2015」で「クリーンアップ作戦」をしました。青空公園から徳山駅周辺までの間を行いました。



## ■ 徳山夏祭りごみ分別案内参加

7月30日(土)に「第43回徳山夏祭り」が開催され、(株)吉本興業が「ゴミ分別案内」と「クリーンアップ作戦」で参加しました。

ゴミの分別にご協力いただきました皆さま有難うございました!



カキ氷の販売も好評でした。



H28年7月までの1年間で集めたペットボトルのキャップの総数は約174,000個でした。

これをゴミとして焼却したとすると1,274kgものCO<sub>2</sub>が排出されるそうです。



### ■ エコキャップ活動

エコキャップ運動を行っています。

社員やお客様のご協力をいただき、ペットボトルのキャップを集めてNPO法人エコキャップ推進協議会に送付しております。

集めたエコキャップは再生プラスチック原料としてリサイクルされ、医療支援・ワクチン支援や障害支援等、様々な社会貢献活動へあてられています。

徳山海上保安部・周南清港会をはじめ、ご協力いただいた皆様、ありがとうございます。

### ■ こどももっちゃ商店街

11月23日(月)周南市の第6回こどももっちゃ商店街にエコライフチームが参加しました。今年も子どもたちに、ごみ分別体験をしていただき、仕事体験の証明として分別マイスター認定書を贈呈しました。





◆ 海岸の清掃活動 ◆

1 はなぐり海岸清掃ボランティア

6月4日(土)、㈱リライフ主催で下松市笠戸島はなぐり海岸のボランティア清掃を実施しました。

海岸に捨てられているゴミや流れ着いた海藻を拾い、また草刈りもしました。

今後も継続して行ってまいります！

2 杵島海岸清掃

6月26日(日)に「瀬戸内 川と海のクリーンアップ大作戦」で杵島海岸清掃に中特グループの社員が参加してまいりました。

沢山の廃棄物があり回収しました。

3 光市虹ヶ浜海水浴場清掃ボランティア

7月3日(日)に一般社団法人山口県産業廃棄物協会主催の光市虹ヶ浜海水浴場清掃ボランティアに参加してまいりました。

4 大津島刈尾海水浴場清掃及び稚魚の放流

同じ7月3日(日)に瀬戸内の海を美しくする会主催の大津島刈尾海水浴場清掃及び稚魚の放流に参加してまいりました。

5 晴海公園・埠頭清掃ボランティア清掃

3月19日(土)に瀬戸内海を美しくする会主催の晴海公園・埠頭清掃ボランティア清掃に中特グループも参加してまいりました。

大量の草木があり、皆で協力してきれいになりました。



持って来た物は  
持って帰りましょう



# お客様とともに

中特グループは、お客様や地域に愛される企業を目指し、真にお客様の立場になったサービスに取り組んでいます。

## 第10回HAPPY!HAPPY!!勉強会

6月3日(金)にホテルサンルート徳山にて「第10回Happy!Happy!!勉強会」を開催しました。今回は創立50周年記念事業とし



(社)アジア支援機構  
代表理事

池間哲郎様



て位置づけ、講師に(社)アジア支援機構代表理事の池間哲郎氏をお迎えして、演題「日本はなぜアジアの国々から愛されるのか」今、私達が学ぶべきこと」をご講演頂きました。

世界の恵まれない子供たちの現状やテレビや学校では語られない第二次世界大戦での日本兵の姿を知ることができました。

当たり前の今の生活のありがたさや、日本をもっと好きになる、日本人であることを誇りに思うことの大切さを知ることができました。

勉強会で学んだことを忘れず、日々業務に励んでいきたいと思えます。

## 法務勉強会 (カスタマーセミナー)

4月21日(木)中特グループ法務顧問の行政書士尾上雅典様を講師としてカスタマーセミナーを中特ホールディングスセミナールームにて開催いたしました。

約50名のお客様にご出席いただきまして、最近起きた食品廃棄物横流し事件を題材に、廃棄物処理法の講義をしていただきました。

排出事業者として廃棄物管理で気を付けなければならない点、廃掃法の改定に伴う注意すべき点、最近の事例に関し業務上注意すべき点、など非常に参考になり有意義なセミナーだったと好評でした。



### 講師プロフィール

行政書士エース環境法務事務所代表

行政書士 尾上雅典先生

中特グループ法務顧問。許認可申請の代行といった単なる行政書士業務に止まらず、廃棄物処理企業の経営基盤確立のため、従業員教育、法務相談など、廃棄物処理企業に特化したサービスを提供されています。



## お客様のご意見

### CSR報告書 Vol.3を読んで

Interview



株式会社トクヤマ  
資源リサイクルグループ  
主席 杉村恒俊様

中特グループ様とは、産業廃棄物の処理に関する取引をさせていただいており、常日頃から色々とお世話になっております。私は、昨年の8月より資源リサイクルグループに配置転換となりました。それまでは、全社の研究開発に関する部門に属しており、セメント部門自体が初めてというところで、今回初めて中特グループ様のCSR報告書を拝見いたしました。

全体を通して大きく感じた印象として、地域社会や人との関わりに重点を置き、熱心に活動を継続されていることが、非常に分かりやすかったということです。記事や写真を見れば一目瞭然ですが、社員の皆様もこれらの活動を楽しんで行われている様子が伺えます。これは、刷新された企業理念の中の行動指針や目指すポジションNo.1に通ずるものがあり、社員の皆様が、明るく元気に、幸せであり続けることが重要と語られているのだと感じました。

50周年を迎えられ、第二章のスタートにあたっての使命が示され、その中でも社員の皆様の成長に関して、力強く述べられ

ています。この先の変化に対応し、人間性を磨くことを通じて成長を促す考え方に強く共感いたしました。社員の皆様と共に中特グループ様が成長する姿を、引き続き情報発信されては、いかがでしょうか。

将来、住みやすい世の中を形成するためには、生活環境問題は切り離せないことだと思えます。その第一歩は地域住民の皆様と環境・エコに関して理解いただくことであり、中特グループ様の地域社会への取り組みは非常に有用だと考えます。その際に、人との繋がりを担う社員の皆様の笑顔が、地域社会を発展させていくのだと思えますので、引き続きのご活躍を期待しております。

弊社も、化学を通じて暮らしに役立つ価値を創造し、ゆたかな社会づくりに貢献してまいります。その中で、生活環境問題の解決に向けて、一緒に考えることができると思っております。

中特グループ様のますますのご発展を期待しております。今後ともよろしくお願いたします。

## 工場見学の受入

下松リサイクル工場では、今年も継続して積極的に工場見学を受け入れています。



年間400人を超える方が来場されており、みなさん熱心に見学されています。

工場見学については随時受け付けておりますので電話、ホームページ、その他で気軽にお申込みください。

## 「お客様の声」

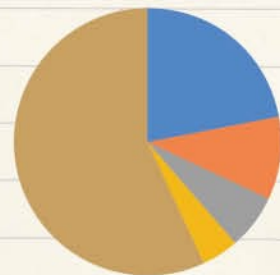
顧客満足度を上げ、私たちのレベルアップにつなげ、さらなる顧客サービスの向上につながるように、経営目標に掲げて取り組んでいます。2015年度は目標のほぼ100%の1,010件を収集しました。

内訳は次のとおりです。

### お客様の声内訳

2015年度  
1,010件

- お礼・感謝
- 質問
- 要望
- お叱り・クレーム
- その他



今後もさらに目標を高くして継続取り組みいたします。

# 環境のために

「中特グループは、地球上の全人類及び地域社会とともに持続可能な発展をするために、環境保全に努め、環境に優しい企業活動を行う。」という基本理念のもと、地域環境活動を推進しています。

## ■ぶちエコ やまぐち宣言

山口県が提唱しています「ぶちエコやまぐち～CO<sub>2</sub>削減県民運動～」に中特グループで取組み宣言しました。

7月には、KRY山口放送の山口県政テレビ番組「元気創出!やまぐち」で中特グループの活動内容が紹介されました。



テレビ取材風景

### ぶちエコやまぐち 宣言書

我が事業所(企業・団体・学校等)は、「ぶちエコやまぐち～CO<sub>2</sub>削減県民運動～」に以下のとおり取り組みます。

※参加する項目に  をつけ、取組内容を記入してください。

**クールビズ**

＜内容＞  
 ✓ 冷暖房を適正な温度(夏28℃、冬20℃)に設定します  
 ✓ 服装や食べ物・飲み物などを工夫して、夏場、冬場を快適に過ごします  
 ✓ ふんわりアクセルや車間にゆとりをもった加速・減速の少ない運転を行います

**ウォームビズ**

**エコドライブ**

**緑のカーテン**

＜内容＞  
 ✓ 緑のカーテンを設置します

植物の名称※1	ゴーヤ・へちま・琉球アサガオ 他	設置箇所	3箇所
面積※2	30 m <sup>2</sup> (幅×高さ)	取組年数	5年目

※1 記入例:アサガオ、ゴーヤ ※2 植える箇所が複数ある場合は、合計の面積を記入してください

**ノーマイカー運動**

＜内容＞  
 ✓ ノーマイカー運動を行います  
 <強化月間>  
 6月、10月第3金曜日、12月  
 ✓ 近くの外出は、  
 徒歩・自転車を使います

6月、12月の実施回数	1回/月	10月第3金曜日の実施(Oor×)	○
実施者数※1	20人	片道通勤距離※2	150 Km
バス半額券の利用人数※3	<6月> 人	<10月第3金曜日> 人	<12月> 人

※1 實際から徒歩、自転車、バイク、公共交通機関を利用している人は含めなくてください  
 ※2 実施者(※1)の通勤距離(片道)の合計を記入してください  
 ※3 バス半額券が利用できるのは実施者(※1)のみ  
 (バス半額券は、強化期間ごとに必要枚数(実施回数×利用人数×2枚)を送付させていただきます)

## クールビズ



CS営業部及び総務管理部の事務職を中心にノーマイカーのクールビズを呼び掛け実施しています。同時に冷房のON・OFF・温度管理にも注意しています。

## 緑のカーテン



本社事務所、ライフ事務所など4拠点でゴーヤ、へちま、琉球アサガオなど部署別にプランターを準備し取り組んでいます。



グリーンカーテン  
【ライフ下松工場事務所】

## エコドライブ



環境目標で燃料消費削減を目標にしています。エコドライブに心がけ、GPSデータはCO<sub>2</sub>消費量を表示確認できるように、アイドリングストップを励行、廃棄物回収ルート効率よく最短ルートで行けるように工夫しております。

## ノーマイカー運動



毎月第3金曜日はノーマイカーで社員に呼び掛け実施しています。参加率は20～30%で延べ削減距離は片道約100kmです。



ノーマイカー運動▶  
【吉本興業岩井さん、ノーマイカーデーには光市から約20kmを自転車通勤】

## エコ活動



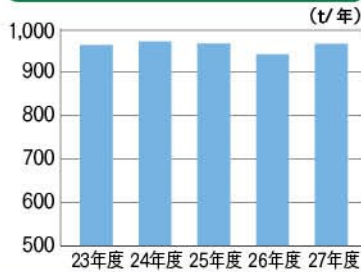
中特グループのオリジナルエコバックを作りイベント等で配付しています。環境美化活動にも積極的に参加或いは企画しています。

## CO<sub>2</sub>削減

ご存じのようにパリ協定が発効し、日本政府も遅れて協定締結を進めています。

中特グループは、平成27年度は電気使用量は削減できましたが、燃料消費量が増加したためCO<sub>2</sub>発生量は増加していました。今後日本政府の削減目標以上の削減を環境目標に入れて具体的な削減に取り組んでまいります。

CO<sub>2</sub>排出量の推移(グループ合計)



ISO14001は平成14年に認証後14年経過しています。環境マネジメントシステムも社員に完全に定着しました。現在2015年版対応中であり次回更新審査時に改訂版で受審致します。

## 環境方針

### 基本理念

中国特殊グループは地球上の全人類及び地域社会とともに「持続可能な発展」をするために、「環境の保全に努め、環境に優しい企業活動を行います」。

### 環境方針

限られた地球資源の有効活用を促進し地球環境に貢献するとともに、生活環境を豊かにします。

1. 当社グループは、一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬、処分、及び再資源化、水処理等の全事業活動から生じる環境影響を的確にとらえ、次の項目について重点的に取り組みます。
  - (1) 当社グループの事業活動の信条に則り、民間企業及び官公庁から委託される廃棄物の適正処理に努める事はもとより、廃棄物の再資源化拡大に積極的に取り組みます。
  - (2) 汚泥処理を拡大し環境影響負荷の軽減を図ります。
  - (3) 工場で使用する電力の原単位向上を目指します。
  - (4) 地域社会との協働を念頭に置き、地域及び職場の環境美化に努めると共に、各種勉強会の開催等を通じてお客様とのコミュニケーションを図ります。
2. 環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスの継続的改善を行い環境汚染の予防等の環境保全に努めます。
3. 環境方針の達成のために、当社グループは環境目的・目標、環境マネジメントプログラムを策定し、環境保全活動を推進します。
4. 環境側面に関する法規制、その他の要求事項を明確に遵守します。
5. 環境方針は当社グループで働く全社員及び当社グループのために働く全ての人に周知します。またこの環境方針は社外に開示します。

平成24年8月10日  
中特ホールディングス社長

橋本 ふくみ

ISO14001認証と  
環境マネジメントシステム

## INPUT

事業に伴う資源・エネルギー等

汚泥	19,822t
がれき類	694t
ガラスコンクリ他	194t
廃プラスチック類	673t
金属くず類	383t
繊維くず	6t
紙くず類	12t
ダンボール	799t
木くず	329t
廃アルカリ廃酸	872m <sup>3</sup>
廃油	478m <sup>3</sup>
鉱さい	164t
もえがら	492t
煤塵	709t
処理水	45,098m <sup>3</sup>
水道水	3,409m <sup>3</sup>
地下水	2,100m <sup>3</sup>
電力	434,476kwh
ガソリン	21,759ℓ
軽油	229,805ℓ
灯油	1,729ℓ
LPG	106m <sup>3</sup>
コピー用紙	201,581枚

中特グループ

## OUTPUT

再資源化、地球環境への排出等

セメント原料	18,574t
ガラスコンクリ陶磁器	633t
廃プラ	492t
ペットボトル	80t
金属くず	58t
缶	81t
紙・繊維くず	21t
ダンボール	799t
木くず	263t
アスファルト材	79t
廃油	1t
肥料原料	5t
汚泥焼却埋立	2t
石膏ボード	47t
処理排水	45,340m <sup>3</sup>
下水排水	3,390m <sup>3</sup>
地下水排水	2,050m <sup>3</sup>
CO <sub>2</sub> 排出量 (換算)	936t
一般廃棄物	1,614kg

(2015年度分)

事業活動に伴う資源・エネルギーなどの投入量と、それに伴う地球環境への排出量を表しています。限りある資源を大切に、環境負荷を最小限にすべく取り組んでいます。

マテリアルバランス

# 社員とともに

中特グループは、「すべては、応援からはじまるの精神で接する」という社員に関する方針を掲げ、社員は会社にとって一番大切な存在で、社員とその家族を守る事を最大の目標とし、事業拡大よりも優先します。

## 事業発展計画発表会 テーマ ～全社一丸～

平成28年9月3日(土)2016年度 中特グループ事業発展計画発表会を遠石会館にて開催いたしました。



■代表挨拶  
代表 吉本英子 より



■「2015年度総括 及び  
中特グループ未来地図」  
の発表  
CEO 橋本ふくみ より

## 来賓ご挨拶

サマンサジャパン株式会社代表取締役会長兼CEO／徳山商工会議所会頭小野英輔様にご挨拶いただきました。



■サマンサジャパン株式会社  
代表取締役会長兼CEO  
徳山商工会議所会頭  
小野英輔 様

株式会社日本政策金融公庫  
下関支店長 沢田 昭弘様  
株式会社山口銀行  
櫛ヶ浜支店長 柳井 孝紀様  
株式会社広島銀行  
徳山支店長 小池 政弘様  
株式会社西京銀行  
本店営業部 奈村幸一郎様  
取締役人事部長

お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。

## 表彰

### 最優秀部門賞



総務管理部

### 最優秀改善提案賞



CS営業部 藤田 晃大  
総務管理部 宮崎 香菜

### 永年勤続賞



総務管理部 坂本 明日香 リサイクル事業部 小西 嘉和

### 笑顔が素晴らしいで賞



内山 富人・宮崎 香菜・中村 勝也・高松 真志

### 身だしなみが素晴らしいで賞



川島 建勇・上原 康宏・廣中 秀光・松村 翔

### あいさつが素晴らしいで賞



篠田 直美・河村 久美・中村 幸治・富塚 光世

## 研修旅行

吉本興業は10月に、中国特殊・リライフなど4社は6月に北九州方面へ研修旅行に行きました。

蛍光管リサイクルをお願いしている北九州市のジェイリライツ様や北部九州の先進企業の会社見学を行い、世界遺産に登録された三池炭鉱万田坑、柳川川下り、城島酒造会社などを廻りました。



## 親睦行事

親睦会では、春のお花見、夏のビアガーデン秋の日帰り旅行など、季節に応じて各種行事を企画・実行しています。



秋の日帰り旅行



ビアガーデンのひととき



お花見のバーベキュー



## 24時間リレーマラソン



9月24日(土)～25日(日)、周南緑地運動公園で開催された「第13回 周南24時間リレーマラソンin Yamaguchi」に本年度も参加しました!

15人で24時間たすきを無事つなげることができました。参加者以外の社員も全員が分担して準備から応援、後片付けまでサポートしました。

今年で最後とのことで、初回から参加してきた中特グループにとっても寂しい気持ちも残ります。

13年間ありがとうございました!



## 社員研修能力向上

社員の育成研修に力を入れて取り組んでおり、廃棄物処理法勉強会をはじめ、各部門においても勉強会及び、各種研修会を計画実施しています。

社員も自ら能力向上、研さんに取り組みレベルアップしています。



◆総務管理部ロールプレイング



◆廃棄物処理法勉強会



◆eクリーニンググループ現場見学



◆HOSグループ勉強会



## リーダー研修能力向上

リーダー以上については、一般社員研修とは別プログラムを加えて研修させています。中特アカデミーではリーダー以上は今年度25単位/年(一般は13単位/年)を取得するように研修しています。また、経営目標&環境目標を達成するために定期的にリーダー研修会を行い、進捗の確認と問題点对応の進め方を協議しています。

社外の研修会・セミナー或いは環境に関する展示会などへ機会をみつけては派遣して知識・見聞を深めるように努めています。



▲CS営業部石田主席、「産業廃棄物処理業経営塾」を卒塾し、優秀賞を受賞

組織を動かすリーダーに関して  
次のように考え育成しています。

【リーダーとは】

部下を叱ることが出来る人が優秀な管理者だ。  
叱ることは教育行為である。  
したがって、ダメな人間には他人は叱れない。

## 資格取得と社外セミナー等派遣

資格取得に関しては、業務に関して必要な資格及び知識能力向上のための資格など積極的に取り組んでいます。平成27年度延べ約60名が新規資格を取得しました。

### 資格取得例

- ・ 浄化槽設備士
- ・ 有機溶剤作業主任者
- ・ 酸素欠乏危険作業主任者
- ・ 建築物排水管作業従事者研修
- ・ CSR検定3級
- その他

社外セミナー・展示会・見学会派遣についても各事業部で必要なセミナー等をピックアップし適宜派遣しています。

### セミナー等派遣例

- ・ 産廃協会環境セミナー
- ・ 貯水槽清掃関東者講習
- ・ 浄化槽管理者講習
- ・ EMS改正セミナー
- その他



# 安全衛生防災活動

事故災害ゼロを目指してグループ挙げて、各管理者・安全衛生委員を中心として各種安全衛生防災活動に取り組んでいます。

## 安全衛生方針

### ◆基本理念

中特グループは、安全衛生・防災はすべてに優先することを前提に、安全な作業・交通事故防止・グループ全員の健全な心身作りに全力を挙げて取り組み、企業活動を行います。

### ◆安全衛生方針

#### 1. 事故災害の撲滅

安全確保はすべての業務を遂行する前提である。この思想のもと、リスクアセスメントによる本質安全化、JBK活動、KY活動、ヒヤリハット活動などを実行し、事故災害の未然防止並びに再発防止を図ります。

#### 2. 安全衛生水準の継続的向上

グループ員の協力のもと、安全衛生管理の継続的な計画・実施・評価・改善などマネジメントシステムの適正な運用により、安全衛生水準の継続的向上に努めます。

#### 3. 法令及びその他の要求事項の遵守

労働安全衛生関係法令並びに中特グループが同意するその他の要求事項を遵守します。

#### 4. 健康保持・健康増進

グループ員の心と体の健康保持増進のため、作業方法や作業環境を適切に管理

し、改善し、メンタルヘルスを含めた健康管理・健康増進の活動を推進します。

#### 5. 5Sの行き届いた明るい職場作り

コミュニケーションを活発化、「報・連・相」を徹底し、整理・整頓・清掃・清潔・躰を推進し、明るく元気のよい中特グループ作りを推進します。

平成27年8月1日  
中特ホールディング社長  
橋本 ふうみ

## ■GPSによる安全運転レベルアップ

全車両にGPSを装着し危険運転挙動及びエコ運転に努めるようにしています。

スピード超過・急減速・急加速・長時間運転などの情報を安全管理者へメール発信し注意を促しています。

定期的に危険挙動の統計分析等を実施し、安全衛生委員会等で報告して安全運転に対する意識を高めています。

また、エコ運転に関してもCO<sub>2</sub>発生量のデータ集計情報開示など、エコ運転意識向上と実践に努めています。

メール発信内容（危険挙動等）	
急加速	0.3G以上の急加速 急アクセル
急減速	0.4G以上の急減速 急ブレーキ
スピード超過	100km/h 超 越えた時点で発信
長時間運転	連続 2 時間以上運転
長時間 アイドリング	連続 30 分以上の アイドリング

安全  
+  
第一

## 2016年度グループ安全衛生防災推進計画

目標重点実施事項	具体的取組み内容
1. 事故災害の撲滅 災害・人身事故 0 件 物損事故 3 件	・事故災害原因の徹底究明 ・対策の水平展開、類似災害防止対策 ・対策の有効性の定期的レビューとフォロー ・リスクの定期チェック ・グループ内の徹底と共有化
2. RA活動の定着 (リスクアセスメント)	・RAセミナー派遣と社内教育 ・RAの実践（化学物質・薬品は必須）
3. JBKの実施 (事故撲滅研修会)	・現業全部門 1 回/月実施 事故災害の事例検討、KYの実践 災害事故防止のアイデア発想
4. ヒヤリハットの 摘出と対策実施	・全グループで 500 件/年以上摘出 ・集計分類と検討報告、対策の実行
5. 継続的改善の実施 P D C A	・計画作成と進捗監視測定 ・1 回/3 ヶ月事務局報告
6. マニュアル類の整備	・安全衛生マニュアル、安全作業基準、 安全関連作業基準類の見直し作成 ・作業手順書の見直し
7. 健康保持増進	・時節に応じた健康管理と健康増進活動 熱中症、風邪、インフルエンザ、他 ・ラジオ体操と自主健康管理の実施
8. 5 S 活動の推進	・各部門で 5 S 活動企画推進 ・定期的な 3 S 活動の実行

## RA(リスクアセスメント)活動

昨年度よりRA活動を重点取り組みしています。中災防のセミナー派遣も20名を超えています。



吉本興業RA検討の様子

### RAシート事例

RAシート事例 リスクアセスメントシート 平成28年7月28日

リスクアセスメント対象箇所	リスク	発生	被害	発生	被害	発生	被害	発生	被害	発生	被害	発生	被害
作業員	作業員	作業員	作業員	作業員	作業員	作業員	作業員	作業員	作業員	作業員	作業員	作業員	作業員
作業員	作業員	作業員	作業員	作業員	作業員	作業員	作業員	作業員	作業員	作業員	作業員	作業員	作業員

## 事故撲滅研修会

### ◆JBK活動

吉本興業・中国特殊・リライフ・藤井興業の各部門で1回/月JB研修を実施しています。



過去の災害事例検討・交通KY等、各部門で事故ゼロを達成するための活動を実施しています。



### バック時の事故防止対策検討

#### ①後方確認

- ・車に乗り込む前に確認
- ・サイドミラー及びバックモニターを確認
- ・人が左右、後方で横切る動きがあるかどうか
- ・後方の上側にも突起物などの障害物はないか
- ・下がる前に確認
- ・死角はないか

#### ④他者への注意喚起

- ・ハザードをつける
- ・ハザードを点灯させ周囲の動きを注意してもらえように表示する
- ・ハザードを早めにつける

#### ②目視

- ・バックする位置を目視する
- ・距離感がつかみ辛い場合は一度降り目視する
- ・バックモニターをあてにしない
- ・目視してモニターが見えない場合は目視
- ・真後ろが見えるように顔をふる

#### ⑤スピード・減速

- ・急な後方移動を行わない
- ・急なギアチェンジを行わない
- ・アクセルを踏みすぎないように注意する
- ・常にブレーキペダルに足を置くようにしておく
- ・スピードを緩めてバックする
- ・後行より遅い速度で下がる

## 相互安全パトロール

今年4月から従来の安全巡視パトロールに加えて、各部門の相互パトロールを始めました。他部門の管理者の異なった目で見ても新たな改善点を見てみようとしています。

事業場に止まらず、現地作業にも実際に現場に出向いています。



## 各種訓練の実施

緊急事態対応訓練・消火訓練・誘導訓練などを実施しています。



バックカー車火災消火訓練  
吉本興業

### 相互パトロール(吉本興業)気づき事項 H28.4.12

実施日 平成28年4月12日 10:30~11:00  
実施者 吉谷浩、川本文吾、江村純久、高瀬光輝、花本雄、内山大輔、遠藤清治、相吉真美

1. バックカー79-98後部ナンバー除霜時に交換依頼を
2. アームローダー劣質、吉本、リライフ合同で検討委員会を開催
3. 無積載時つかみ機を地面に設置させる積圧が抜け、アームが下りる危険あり
4. カレンダーの上、塩ビパイプの間にワイヤーあり、火気厳禁(禁煙)では?



酸欠事故  
緊急事態対応訓練  
中国特殊



汚泥流出緊急事態対応訓練  
リライフ

# 労働慣行・人権

## 多様性のある職場作り

女性活躍・男女雇用機会均等のみならず、高齢者雇用・障がい者雇用・外国人雇用を進めるとともに、その人権への理解と配慮を進めます。

## ワークライフバランスの向上

業務の生産性向上を図り、時間外の削減を進めています。

時間外70H/年(2014年)→60H/年→50H/年(2017年)

ノ一残業デーの実施（毎週水曜日）

## 社員の健康管理

健康診断、メンタルヘルスケアを継続して進めています。

また、新たに産業医を配置しました。

## 採用に対する考え方

中特グループの未来を創り出すために、共に困難を楽しみ乗り越える仲間を増やす活動

### 【基本】

1. 地域社会の要求にお応えする組織を創り出すために、積極的に活動する。
2. 既存社員と新卒社員・中途採用者との融合を図り、より良い相乗効果を生み出す風土を形成する。
3. アルバイトスタッフが出来る仕事を増やしていき、積極採用する。

### 【常に改善】

1. 新卒採用者、中途採用者如何に関わらず、新人が入ってきた時が絶好の進化成長のチャンスである。
2. 新人にとって先輩にとって、困ったコト、わからないコト、勘違いしたコト、勘違いさせたコト、失敗したコト、間違っただけで伝わったコト、の全てが改善し成長していくチャンスである。
3. 直ぐに文章化、マニュアル化する。「あとでやろう」は絶対にやれない。問題の先送りした後で必ず痛い目に合う。自分が困ったことは、必ず後の人も困る。

## 山口県議会 地方創生特別委員会にて説明

8月23日(火)に開催された第6回山口県議会地方創生特別委員会において中特グループCEO橋本ふくみが参考人として、「もっと女性が活躍できる職場環境づくり」について説明させていただきました。女性活躍が著しい中特グループの現状と考え方及び取組状況、将来方向などご説明させていただきました。



## ANGネットワーク(あねごネットワーク)

社内の女性メンバーの結集力で、斬新な発想で、活性化を図るため活動しています。

女性社員比率も約25%と高く、会社幹部も多くが女性という中特グループですが、男女比が人口比と同じ5対5ならばもっと女性が活躍してもよいでしょう。

中特グループの女性で構成し、女性の感性による業務改革を進めて行くネットワークを作り、定期的な会合を持って活動しています。



# 第3者意見



平成28年度  
山口県弁護士会会長  
弁護士

中村友次郎様

任が重視されるの？」「あなたの勤め先の社会的責任はなに？」という質問に直ぐに答えられるでしょうか？

ところで、会社は、事業活動から収益を上げ、その収益から社員へ給料を払い、また、株主へ利益をもたらします。これは会社が社員や株主に対して負っている法的責任です。法で定められた身内への責任と違っていいでしょうか。そして、身内への責任ばかりを考えていると、「とにかく儲ければいい」という結論になりがちです。

しかし、「儲ければいい」という考えから公害が発生したことや近年の企業不正事件を忘れてはいけません。2011大王製紙経営者の不正支出による巨額損失、2011オリンパス経営陣による巨額粉飾決算、2013カネボウ化粧品製の製品瑕疵（白斑発症）、2013みずほ銀行の暴力団融資、2015東洋ゴムの免震パネル等データ偽装、2015東芝不適切経理、2015旭化成建材のマンション杭打ちデータ改ざん、2016三菱自動車燃費データ改ざん、などなど枚挙にいとまがないほどです。

これらの事件は、いずれも儲け第一の考え方や保身に走る経営者の身勝手か

ら発生したものです。自分の利益だけを追求すれば人間だけでなく企業もおかしくなり、それでは結局身内への責任も果たせなくなるのです。

近時CSRが重視されているのは、数々の事件に現れている企業活動のゆがみを是正するため、企業にも社会の構成員として社会を良くする責任があるという考え方と理解できます。「今年も儲かった」とか「給料上がった」という自分のことだけではなく、「私は社会に役立つているか？」という観点からの責任です。

それでは、冒頭の質問に戻って、中特グループの皆さんのCSRとはなんでしょう？既に皆さんは答えを出しています。「生活環境革命で人々を幸せにする」という企業理念が中特グループのCSR（社会的責任）のほずです。CSR報告書に記載の様々な活動もこの企業理念を実現するためのものであり、この理念を忘れなければ、経営陣も社員の方も立派に社会的責任を果たしているのではないのでしょうか。

期待しております。



## 第3者意見を受けて

この度は貴重なご意見をありがとうございます。ご意見を拝聴してCSR活動に関して叱咤激励されたものと強く感じております。

- 「生活環境革命で人々を幸せにします！」の経営理念を掲げ、子どもたちのため次世代のため、未来のため、地域社会のために、事業活動、社会貢献活動に取り組んでいます、
- ・取り組み方向は間違っていない
- ・まだまだレベルが低く、ステップアップが必要

このように感じました。

事例に挙げられました企業の不正等を他山の石として類似事例を起こさないのは当然のことですが、中特グループは地域社会になくはない会社として、全社一丸となり事業活動を通じて社会に貢献すべくCSR活動を最重点に推進して参りますので今後ともご指導のほどよろしくお願ひします。

CSR推進室長

遠藤清治



# 組織統治

## 経営執行組織図



**中国特殊(株)**

エコ事業部

- ・eクリーングループ
- ・HOSグループ

設立: 昭和41年2月1日  
 代表者: 吉本英子  
 資本金: 2,000万円  
 売上高: 4億(2015年度)  
 従業員: 29名  
 事業内容:  
 一般廃棄物収集運搬業、  
 産業廃棄物収集運搬業、  
 下水道維持管理業、建設業  
 解体業、浄化槽保守点検業

**(株)藤井興業**

アメニティチーム(新南陽担当)

設立: 平成5年4月  
 代表者: 平岡仙吉  
 資本金: 1,000万円  
 売上高: 46百万(2015年度)  
 従業員: 4名  
 事業内容:  
 一般廃棄物収集運搬業、  
 産業廃棄物収集運搬業、  
 貯水槽清掃業、浄化槽保守点検業

**(株)吉本興業**

ポータルハートサービス事業部

設立: 昭和42年7月  
 代表者: 吉本妙子  
 資本金: 1,000万円  
 売上高: 2億6百万(2015年度)  
 従業員: 25名  
 事業内容:  
 一般廃棄物収集運搬業、  
 ポータルハートサービス事業

**(株)リサイクル**

リサイクル事業部

- ・リサイクルグループ
- ・再資源化グループ
- ・未来開発グループ

設立: 平成元年2月  
 代表者: 橋本ふくみ  
 資本金: 9,500万円  
 売上高: 5億10百万(2015年度)  
 従業員: 20名  
 事業内容:  
 産業廃棄物収集運搬業、  
 産業廃棄物処分業、リサイクル事業

# CSR 活動の位置づけ

## 事業活動・・・静脈産業のオーソリティー

地域社会の安全安心を守る者としてのプライドを  
持ち業界の境界を越えた仕事をする

## 環境活動・・・社会満足度の追及

地球環境の悪化による悪影響をも視野に入れ  
循環型社会形成に尽力する

## 社会貢献活動・・・社会を幸せにする会社

超高齢社会にも対応した地域に根差した活動で  
「幸せ」を共有する

## 目指す人・・・本気のプロフェッショナル

自ら考え行動する自立型姿勢を基本に、  
お客様から信頼され頼りにされる人間



## 編集方針

中特グループのCSRの取組みと事業活動  
始め各種活動をステークホルダーの皆さまへ  
わかりやすくご報告するよう編集しています。  
紙面の都合上掲載できなかったデータ等は  
ホームページ等で開示していますのであわせて  
ご覧ください。

作成にあたっては環境報告ガイドライン  
2012年版及びISO26000を参考に  
しました。

### ◆対象期間

2015年11月～2016年10月

### ◆対象範囲

株式会社中特ホールディングス  
中国特殊株式会社  
株式会社吉本興業  
株式会社リライフ  
株式会社藤井興業

### ◆発行時期

2016年11月

### ◆お問合せ先

株式会社中特ホールディングス  
CSR推進室  
山口県周南市大字久米3078番地の1  
URL <http://www.chutoku-g.co.jp/>  
TEL 0834・26・0500  
FAX 0834・25・2856

## 株式会社 中特ホールディングス

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078 番地の 1

TEL: 0834-26-0500 FAX: 0834-25-2856 <http://www.chutoku-g.co.jp/> Eメール info@chutoku-g.co.jp

## 中国特殊株式会社

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078番地の1  
TEL: 0834-26-0500 / FAX: 0834-25-2856

## 株式会社 リライフ

本社: 〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078番地の1  
TEL: 0834-33-8685 / FAX: 0834-25-2856  
下松リサイクル工場:  
〒744-0002 山口県下松市東海岸通り18番地の1  
TEL: 0833-44-0007 / FAX: 0833-44-1007

## 株式会社 吉本興業

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3044番地の2  
TEL: 0834-25-0423 / FAX: 0834-25-2939

## 株式会社 藤井興業

〒746-0017 山口県周南市宮の前 二丁目2番12号  
TEL: 0834-63-1294 / FAX: 0834-25-2856



Reの種を育てて  
Greenな社会をつくる



中特グループ



ポータルハートデスク  0120-105-568

